特集 ｜ DX推進に関するアンケート調査 集計結果

７月に会員の皆さまを対象に実施いたしました「ＤＸ推進に関するアンケート調査」の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。アンケート実施に際し、多くの皆さまよりご協力をいただき誠にありがとうございました。

なお、集計結果につきまして、静岡経済研究所の阪口特任研究員より解説とコメントをいただきましたので、ご参照ください。

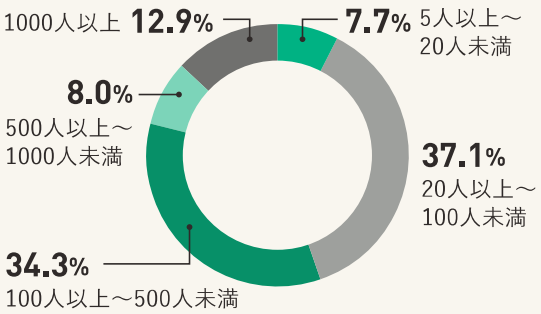
今後ともよろしくお願い申し上げます。

- 調査期間・・・・　令和６年７月19日～８月９日
- 調査方法・・・・　Webフォームによる回答及びアンケート用紙による回答
- 回答会員数・・・　286社　（会員数　673社〈回収率　42.5%〉

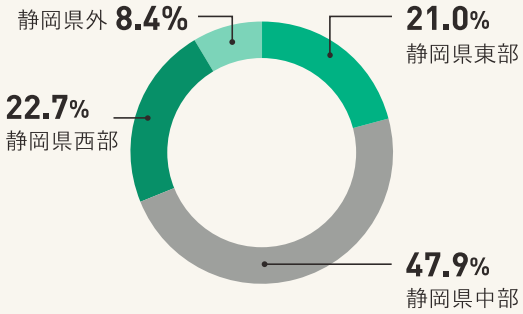
1 アンケート結果

Q.1 御社の属性について教えてください。

1-1 従業員数



1-2 本社所在地

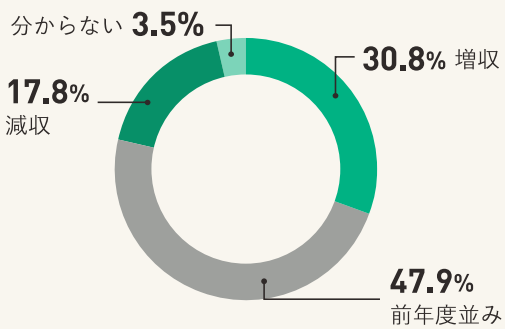


1-3 業種

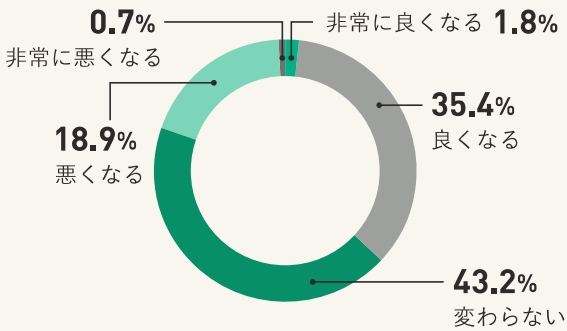
業　種	社数	比率（%）	業　種	社数	比率（%）
製造業（その他）	62	21.7%	運輸業、郵便業	18	6.3%
建設業	44	15.4%	金融業、保険業	17	5.9%
卸売業、小売業	38	13.3%	その他	80	28.0%
製造業（輸送用機器、部品）	27	9.4%	計	286	100%

Q.2 御社の業績について最も近いものを選択してください。

2-1 今年度（2024年度）の売上げ見通しについて、前年度に比べてどうなりそうですか？

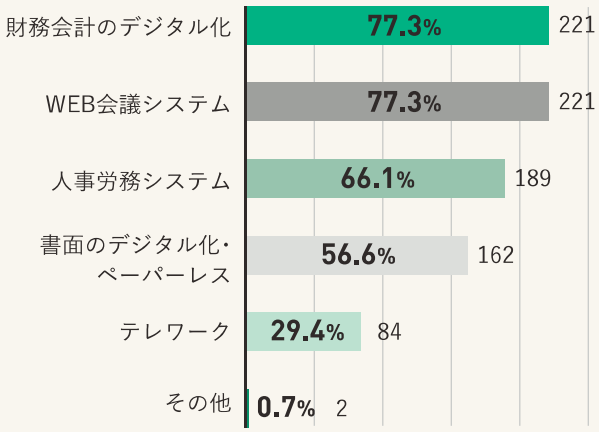


2-2 今後５年間の業績見通しについて、どのように予想していますか？

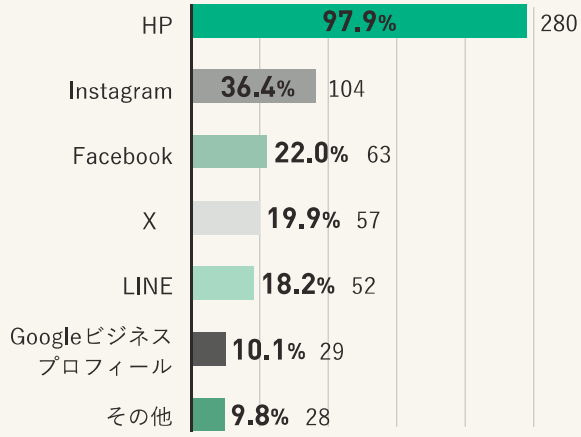


Q.3 御社内のＩＴ活用状況について教えて下さい。

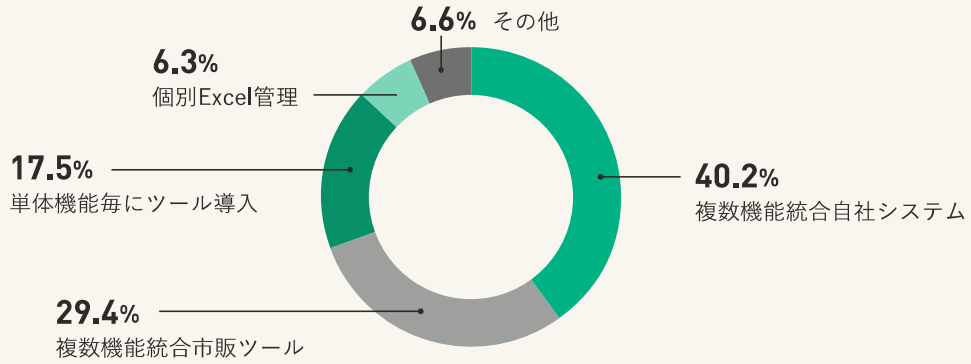
3-1 総務経理部門で導入しているＩＴシステム・ツールについて当てはまるものを全て選択してください。
（複数回答可：879回答）



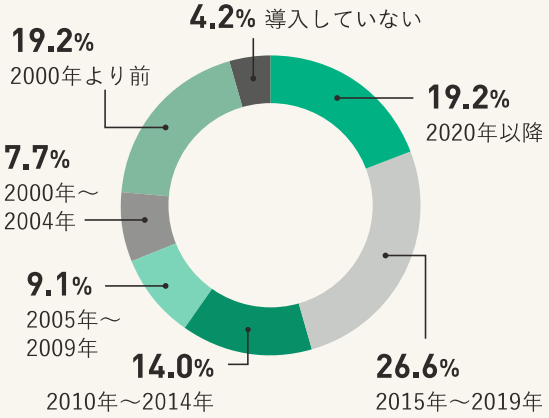
3-2 御社の情報発信について、行っていることを全て選択してください。
（複数回答可：613回答）



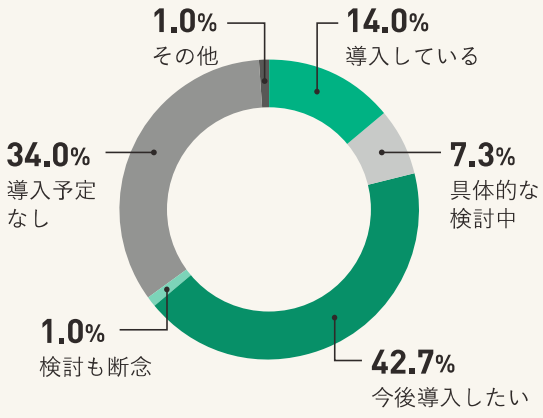
3-3 基幹システム（※）として最も近いものを一つだけ選択してください。基幹システムが複数ある場合は、最も重要なシステムについてご回答ください。
（※）販売管理、購買管理、顧客管理、在庫管理、生産管理など本業を支えるインフラ



3-4 基幹システムについてお伺いします。前問（3-3）でご回答いただいた基幹システムは、いつ頃導入しましたか？複数ある場合は最も古いシステムについて回答してください。



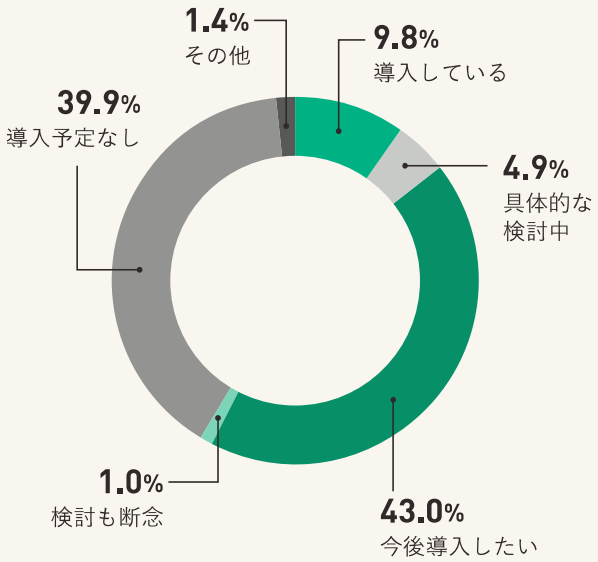
3-5 生成ＡＩ（ChatGPT等）を会社として導入していますか？（個人的な利用は除く）



3-6 前問（3-5）で「導入している」「具体的な検討を開始している」と回答された場合、どのような形で生成ＡＩを活用している、活用しようとしているか具体的に教えてください。（記述式）

- 「文書等自動作成編集」関連…社内外の文書作成･要約･添削の自動化、検索･調査の省力化など
- 「業務の効率化」関連……定例的業務簡略化･自動化など（Microsoft Copilotなどの導入）
- 「自動応答・会話」関連……Chatbot型プログラムでの社内・社外対応の自動化など

3-7 生成ＡＩ以外のＡＩ（ＡＩが組み込まれたサービスを含む）を、会社として導入していますか？



3-8 前問（3-7）で「導入している」「具体的な検討を開始している」と回答された場合、どのようなＡＩを活用している、活用しようとしているか具体的に教えてください。（記述式）

- 「文書等自動作成編集」関連
  デジタルテキスト変換ツール
  （AI-OCRなど）
- 「検査・管理」関連
  製造現場の検査工程での活用、顧客や債権、書類などの管理

3-9 その他、御社内で進めているデジタル化・ＤＸの取り組みについて具体的に教えてください。（記述式）

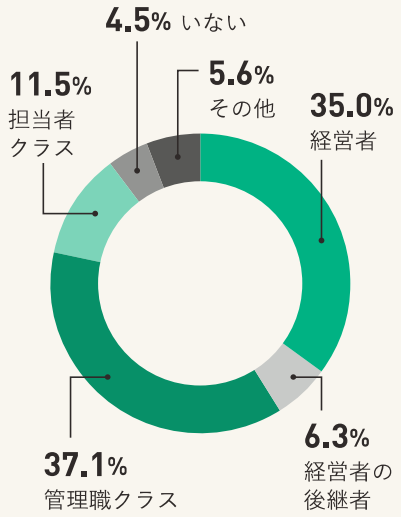
- 「ペーパーレス化」関連……社内稟議、電子契約、会議資料、給与･勤怠管理、経費精算など
- 「コミュニケーション情報共有」関連……グループウェア（Microsoft365やキントーンなど）の導入
- 「ＩＴリテラシー向上」関連……ＩＴ・ＤＸ人材育成、ＤＸ推進部署の設置など
- 「自動化」関連……RPAやBOTの導入にる業務の自動化
- 「基幹システムの刷新・更新・導入」
- 「検査・管理」関連……製造現場の検査工程での活用、顧客や債権、書類などの管理
- 「省人化・省力化」関連……AMR（自律走行搬送ロボット）の導入

3-10 今後、検討したいデジタル化・ＤＸの取り組みについて具体的に教えてください。（記述式）

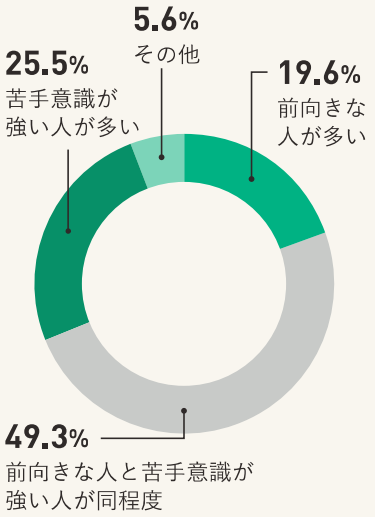
- 「業務効率化」関連……自動発注、人事労務、在庫管理、営業支援などのシステムツール導入
- 「ペーパーレス化」関連……社内稟議、電子契約、会議資料、給与･勤怠管理、経費精算など
- 「データ管理活用連携」関連……各種情報の一元管理や分析に基づく有効活用
- 「自動化」関連……RPAの導入による業務を自動化
- 「省人化・省力化」関連……AMR（自律走行搬送ロボット）の導入
- 「コミュニケーション情報共有」関連……グループウェアの導入、見直し

Q.4 御社のデジタル化の体制について教えて下さい。

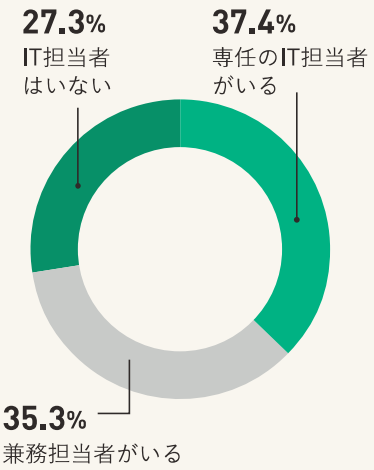
4-1 御社のデジタル化・ＤＸを最も牽引しているのは誰ですか？最も近いものを選択してください。



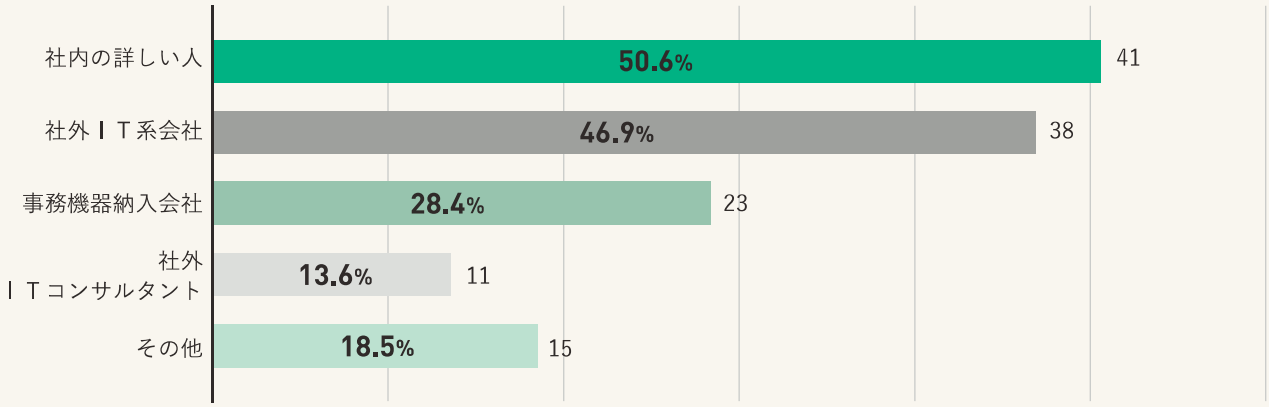
4-2 御社内のＩＴに対する雰囲気について、最も近いものを一つだけ選択してください。



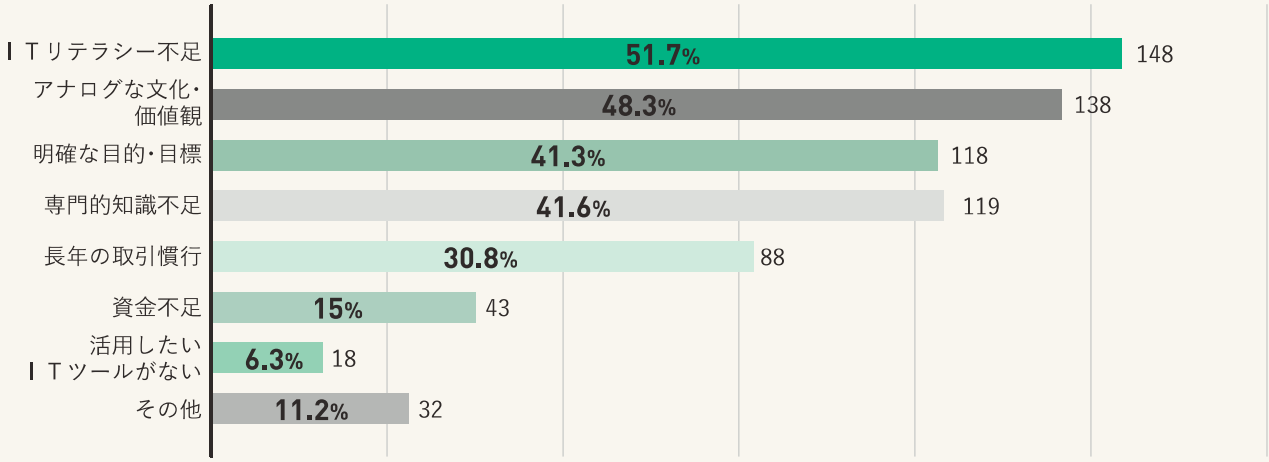
4-3 御社内にIT担当者はいますか？



4-4 前問（4-3）で「ＩＴ担当者がいない」場合、社内システムやネットワークに関する相談は誰にしていますか？当てはまるものを全て選択してください。（複数回答可：81社、128回答）



4-5 御社がデジタル化・ＤＸを進める上での課題として、当てはまるものを全て選択してください。（複数回答可：704回答）



2 解説・コメント

（一財）静岡経済研究所　特任研究員　**阪口瀬理奈** 氏

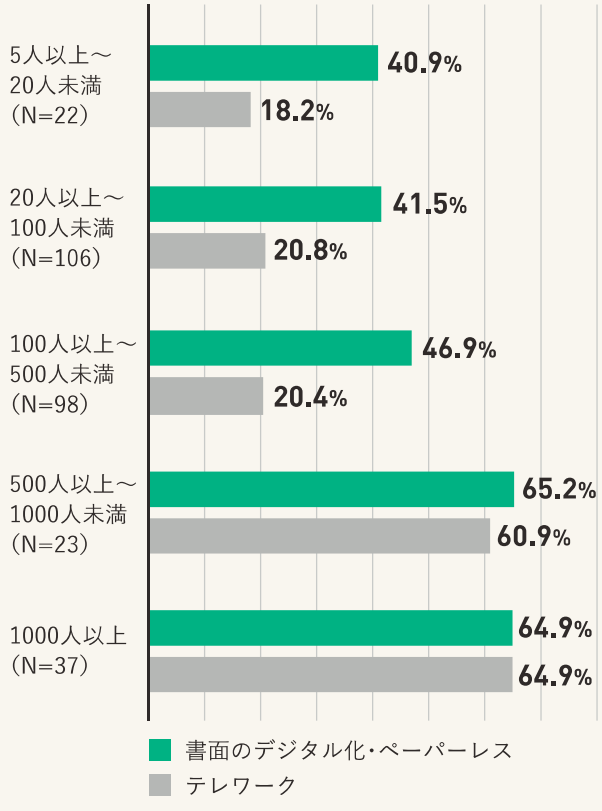
全体を通して

- 総務経理部門では、財務会計のデジタル化、WEB会議の活用、人事労務システムの導入は大半の企業で進んでいる一方で、テレワークに関してはまだ３割未満と低調である。**3-1**
- 基幹システムに関して、いまだにExcel管理している企業が6.3％あり、また、個別システムをバラバラに運用している企業も17.5％と、柔軟な運用の難しい形態のシステムの割合が高いと言える。**3-3**
- 生成ＡＩの導入率は14.0%と高くないものの、導入に前向きな企業は全体で６割を超え（64.0%）、大半の企業が生成ＡＩに前向きな関心を持っていることがうかがえる。**3-5**
- 「ＩＴの活用に苦手意識の強い社員が多い」と回答した企業は全体の1/4を占め、今後ＩＴ化を進めるにあたって社内の雰囲気をどう前向きにしていくかは非常に重要となる。**4-2**

企業規模とＩＴ活用度

- 企業規模が500人をこえると、ペーパレスやテレワークは一気に進んでいることがわかる。
- 特にテレワークは500人未満の企業と500人以上の企業とで、顕著に差がでている。

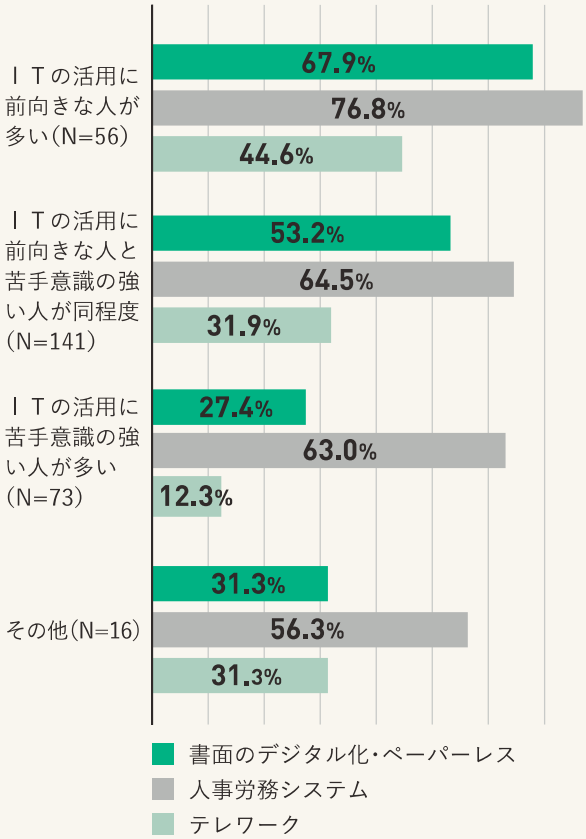
企業規模と総務経理部門のデジタル化



ＩＴの活用度と企業の雰囲気①

- ＩＴに前向きな会社ほど、ＩＴツール・サービスの活用度は高い。
- その中でもとくに「ペーパレス」はＩＴに前向きな企業で高い値となっている。

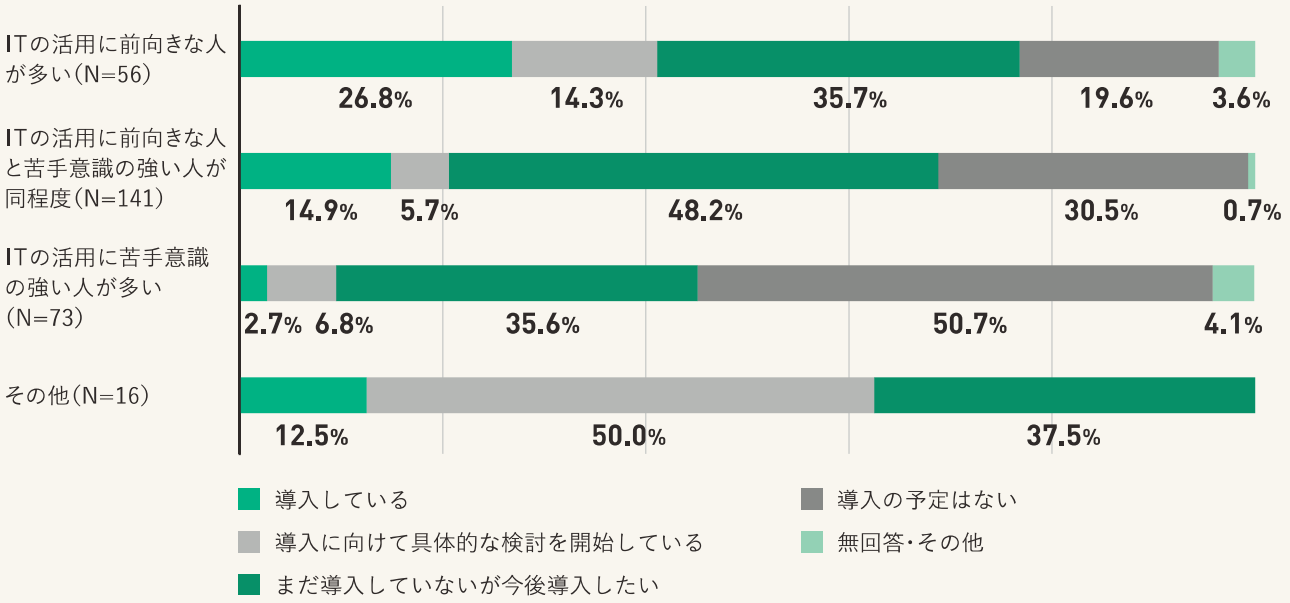
社内のＩＴに対する雰囲気×総務・経理部門で利用しているツール・サービス



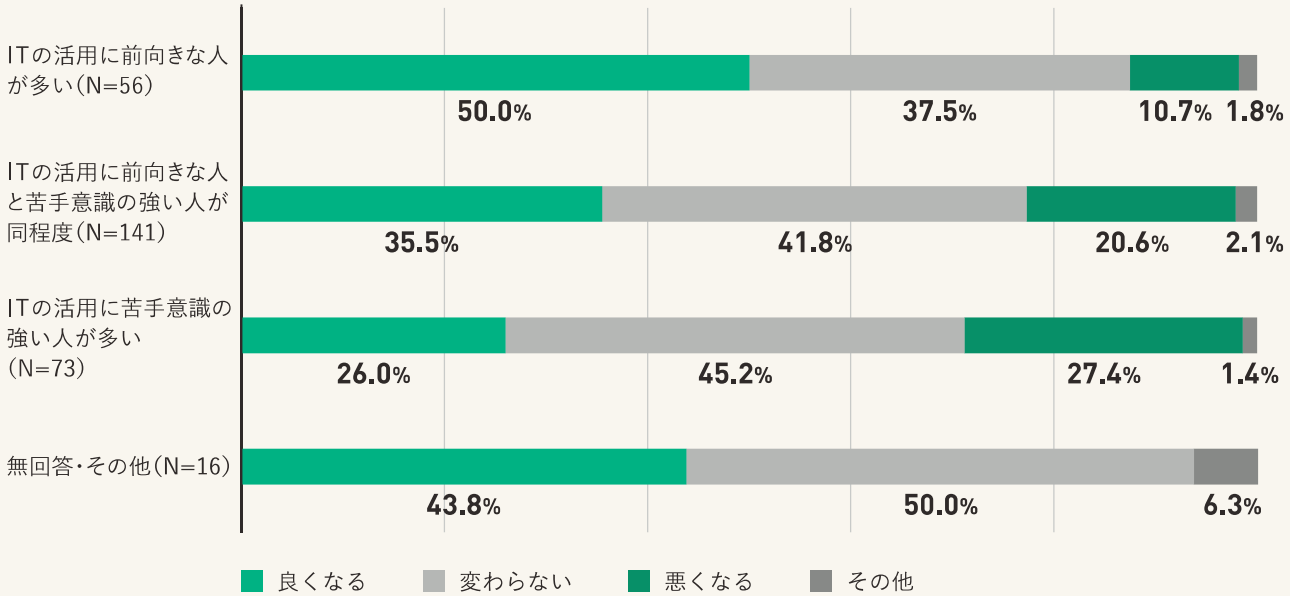
ＩＴの活用度と企業の雰囲気②

- ＩＴに前向きな企業ほど生成ＡＩの導入率は26.8％と高く、全体での導入率14.0％の約２倍となっている。
- 自由記述回答（3-6 他）を見ると、導入済み企業での主な用途は、文章の要約・添削、情報収集、資料作成といった最も利用しやすい方法が中心となっている。その他試験導入という企業もあり、全体的に業務効率化に向けて模索している企業が多いことがうかがえる。

社内のＩＴに関する雰囲気×生成ＡＩ



業績とＩＴ活用度

- ＩＴに対して前向きな企業では、業績の見通しがよい企業がちょうど半数だが、ＩＴに苦手意識の強い企業では約半分の26%に留まっている。
- ＩＴへの社風と業績の関係性については複合的な要因が想像されるが、ＩＴ投資は業務効率化、新規事業のきっかけなどにもつながることから、ＩＴに前向きな社風の企業ほど引き続きＩＴ投資も活発に行う可能性が高く、今後の成長も期待できると言える。

社内のＩＴに対する雰囲気×今後５年の業績見通し